

カラスに負けない！ 正しいごみ出し



カラスによるごみ荒らし被害が年々増加傾向にあります。カラスは本来、里山など山間部に住んで畑などを荒らす反面、農林業に有害な昆虫やネズミを駆除するなど、目立たない功労者でもあります。しかし、近年は食料の豊富な都市へ進出するものが増え、思いがけない害を起こすようになりました。

カラスの生態を 知ろう！

カラスのおもな特徴



- ハシブトガラスとハシボソガラスの2種類があります。
- 雑食性でいろいろな物を食べます。
- 視覚が鋭く、人間の5倍あると言われています。逆に嗅覚は鈍いと言われています。
- 繁殖期は3～7月で、巣に過度に近づくと威かく・攻撃されることがあります。
- とても賢く、学習能力が高いです。人間で言うと小学校低学年程度の知能をもつと言われています。

なぜ都会でカラスが増えたのか

雑食性のカラスにとって、私たちの出す生ごみは格好の食べ物です。

都会でカラスが増えた大きな原因は、食べ物となる生ごみが豊富にあること、街路樹や電柱など巣づくりができる環境が存在することがあげられます。カラスは、都会の環境に順応しながら増加したと考えられます。



【参考：環境庁自然保護局「都会のカラス ～その被害と私たちにできること～」】

カラスの被害を防ぐには

ごみの出し方を工夫することで、カラスによるごみの散乱を防ぐだけでなく、長期的にはカラスの増加を抑えることができると考えられます。

●生ごみを減らす

カラスにとって生ごみは食物です。生ごみを少なくする工夫をしましょう。

●収集時間を守って出す

前日の夜や早朝にごみを出すと、放置する時間が長くなり、カラスに荒らされる可能性が高くなります。ごみを出す時間をしっかり守りましょう。

●生ごみを見えないようにする

カラスは主に視覚で食べ物を探すので、紙に包むなど外から見えないようにすると被害を減らせます。

●ネットなどでごみを覆う

カラスがごみにふれることができないようにネットなどでごみ袋を覆いましょう。ネットの網目は、カラスのくちばしが通らない程度の細かいものにしましょう。また、ネットはごみ袋がはみ出さないように全体を覆いましょう。

カラスの行動に注意しましょう

特に繁殖期に巣へ近づくと、威かく・攻撃される恐れがありますので、注意しましょう。



地域ぐるみで協力しましょう



一部で対策をしても、対策をしていない他の場所にカラスが移動するだけになってしまいます。

被害を減らすためには、地域で協力することが大切です。

ネットでのごみの出し方にご協力を！

家庭から排出される廃棄物にネットなどを使用することは、鳥獣によるごみの飛散被害防止対策として有効な方法ですが、最近、カラスなどによる鳥獣被害対策として機密性の高いボックスなどの使用により、内部に危険性の高いガスなどがたまり収集員やごみを出す人が危険にさらされる事故が起きています。また収集時に重石のレンガ・ブロック、ペットボトルがあると手間がかかったり、危険な場合もあり、置いたままで通行の妨げになっていることもあります。

さらに取り出しづらいもの（ひもを固く縛ったネットや、チャック式）が収集作業を困難にしています。今回、基準となる「良い例」と「悪い例」を作成しましたので、ご協力をお願いします。

- 【基本的な基準】**
- 折り畳み式で中身が見えて通気性のあるもの
 - 収集後に片付けられる（公共用地）
 - 1つの収集場所に1つのネットなど（複数不可）

問合せ 環境衛生課（☎429-9289）



良い例		悪い例	
詳細	イメージ	詳細	イメージ
ネット ごみ袋の下にネットを隙間なく巻き込む		ランドリーバスケット型（チャック式） 作業員は厚手の手袋を装着しているので、指先を使う作業ができず、チャックを開けるのが困難	
巾着型ネット（袋状） 上から被せるものや、容易に開けられるもの		巾着型ネット（袋状） 巾着部の開口部を結ぶなど容易に取り出すことができない	
周囲に軽いおもりなどをつけたネット プラスチック製のチェーン、園芸用の軽い支柱、重すぎないロープなどを利用		重石などの使用 ブロック・レンガ、ペットボトルなどを重石に使用すると通常より移動に時間がかかり、気付かず飛散させる恐れがある	
ネットボックス 折り畳み式で中身が見え、片付けられるもの。 ※10世帯以上で利用するネットボックスへの助成制度あり		ネットの周囲に重いおもりがついている 周囲の大切なものを傷つけたり、作業員が重大な事故や怪我をする恐れがある ※詳しくは問い合わせください。	

※一例です。（この他にも収集できない場合があります。）

カラスは防鳥ネットなどの網目からも執念深く生ごみを狙っています。カラスと生ごみの物理的接触を避ける対策だけでなく、狙われにくくする対策など、複数の対策を組み合わせることが有効です。【悪い例】の場合、収集作業が困難となりますので使用を控えてください。使用し続けた場合、今後収集しない場合があります。

折り畳み式ネットボックスの助成

泉佐野市では、市内でおおむね10世帯以上のごみ集積所を管理する自治会または任意団体の代表者を対象に、カラスなどの鳥獣によるごみの飛散防止対策として、折り畳み式ネットボックスを購入する団体に対し、購入費用の一部を助成しています。
 ※助成額の上限や条件、申請方法など詳しくは市ホームページ（ID: 13032）をご覧ください。